

○10番（田山文雄君） 皆さん、おはようございます。また、傍聴の皆様には、議会にお越しいただきまして、大変にありがとうございます。議席番号10番、田山文雄でございます。議長より発言の許可をいただきましたので、通告に従って2項目3点についての一般質問をさせていただきます。執行部の誠意ある答弁をよろしく願いいたします。

まず、1項目めの英語教育の取り組みについてお伺いをいたします。当町におけるこの先進的な英語教育は、公立としてはほかに類のない取り組みとし、町長のリーダーシップのもとで実施をされているところであります。

世界の人口で英語を母国語とする人は、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランドを初め約4億人の方がいます。そのほか公用語や第2言語として英語を使用している人口ですが、こちらが58カ国、17億5,000万人もいます。例えばインド、シンガポール、マレーシア、香港、パキスタン、フィリピン、ガーナ、ナイジェリア、南アフリカ、北米、オランダ、スイス、ドイツなど、新興国もあれば先進国もあり、幅広い状況であります。この母国語、公用語、第2言語の地域を合わせますと、この英語圏は世界で21億5,000万人になります。世界の3.5人に1人が、この英語圏の国に住んでいることになります。また、インターネット上の使用言語で最も多いのも英語ですので、国や地域をまたいだ情報伝達がとても早いのもこの英語圏の特徴でもあります。こういった状況を踏まえ、この取り組みは当町の子供たちに将来における可能性を大きく広げていくと思うところであります。

そこで1点目として、今年度境小学校をモデル校として実施をされ、来年度には全小中学校に実施をされる予定になっていますが、現在までの課題や評価、そして実施予定の内容についてお伺いをいたします。

また、2点目に、来年度にはぜひ町民を対象として英会話講座の実施も検討されていると思いますが、この開始時期や内容についてどのように検討されているのか、お伺いをいたします。

次に、2項目めの防犯対策の取り組みについてお伺いをいたします。人は防犯カメラが設置をされていることを知りながら犯罪を犯そうとはしません。それは、犯行の瞬間を記録されれば、その後に自分が特定され、責任を追及されることがわかっているからです。この意味で防犯カメラには、強力な防犯抑止効果があると言えます。この心理的効果を最大限に活用するには、防犯カメラを目立たせ、設置をされていることをアピールするなどの姿勢が有効であります。当町も防犯灯や防犯カメラの設置などが数多く行われていますが、今後の設置計画についてどのように検討されているのか、お伺いをいたします。

以上、2項目3点についての1回目の質問を終わります。

○議長（倉持 功君） 最初に、英語教育の取り組みについての質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

〔教育次長 中村幸一君登壇〕

○教育次長（中村幸一君） 改めまして、おはようございます。それでは、田山議員の1項目目、英語教育の取り組みについての1点目、今年度は境小学校をモデル校として実施され、来年度には全小中学校に実施される予定になっているが、課題や評価、実施予定の内容についてとのご質問にお答えします。

9月から境小学校をモデル校として実施している本事業につきましては、境小学校において半年間のパイロットプログラムを実施し、さまざまな課題を抽出し、改善するためのプログラムになっております。9月14日に行われた公開授業では、議員各位を初め、外務大臣政務官、岡本三成衆議院議員にもご視察いただき、岡本衆議院議員からは「境町の先進英語教育は、ほかに類を見ない試みとなっており、境町の英語教育を日本中に広めるため、みんなで盛り上げていければと思います」とのお言葉をいただいております。

事業開始から3カ月が経過したところでございますが、一番の課題としましては、時間の確保が挙げられます。教育課程という限られた枠組みの中で英語学習の時間を確保するために、15分の短時間学習のモジュールを取り入れたり、フィリピン人英語講師の常駐という強みを存分に生かし、朝の読書会、昼休みや給食の時間などを活用し、全児童が毎日45分以上親しみやすく英語に触れる環境づくりを進めているところでございます。

次に、聞くだけの講義形式ではしっかりとした発音が身につかないという観点から、少人数のグループ指導を試行しております。授業の中で繰り返し発声することで正しい発音を学習することができます。また、教育職員免許法上、日本の教員免許を持たない講師による単独の授業は認められておりません。しかし、国の特別免許状制度を視野に将来的にはフィリピン人英語講師単独による授業を検討し、これにより学校教職員の負担軽減にもつなげていきたいと考えております。

先進英語教育という初の試みに対して不安を感じる児童もいたようですが、フィリピン人英語講師の指導力の高さや明るい人柄、学校全体での親しみやすい環境づくりにより英語の時間を楽しみにしている児童も多く、もっと勉強したいなどの声も聞こえています。英語に触れるためのさらなる工夫を検討していきたいと考えております。

このような情勢を踏まえ、平成30年度につきましては20名程度の講師を町内全小中学校に配置し、児童生徒の英語力の向上を図り、グローバル社会で活躍できる人材の育成に努めていきたいと考えているところであります。町政報告でも町長から報告がありましたように、講師の来年3月招聘のために費用として1,516万円を補正予算に計上させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、2点目、来年度には町民を対象として英会話講座の実施も検討されていると思うが、開始時期や内容についてとのご質問にお答えします。今後町民の皆様を対象とした英会話教室につきましては、直ちに実施するというのではなく、まずは来年度全小中学校に英語講師が配置される中で、先進的な英語教育授業が順調に進捗していく状況を見た上で、さまざまな問題点を整理しながら開始時期や内容等につきましても検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） 済みません。議会も先ほど答弁にありましたとおり、その公開授業を見させていただきました。子供たちが大変楽しく、本当に英語に僕らがあつたような壁なんかなく、本当に自然と溶け込んでいる雰囲気というのは、多分議員の皆さんも一緒に行きましたので、同じ感想を持ったのかなというふうに思っています。

来年度は、この全小中学校はもう間違いなくやると思うのですが、この前僕も若干ちょっと見せていただいたのですけれども、その授業の風景のビデオというのを町のほうでつくられて、多分短い時間だと思うのですが、ああいったものをやはりどんどん活用されるのだろうとは思いますが、例えばこういったビデオを、僕らも実は境で小中学校はこういうふうに行っているのですよというのをやっぱりPRしたいわけです。恐らく町の人もいろんなところで多分流したりするのだろうとは思いますが、そういったビデオとか、ぜひひとつ貸していただけるような、そういうことはできるのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思うのですが。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

教育長。

○教育長（増田雅一君） おはようございます。田山議員の再質問にお答えをしたいと思います。

動画を皆さんにも、たしか6分程度だったと思いますけれども、ごらんをいただいたとっております。いろいろこれからこういういい取り組みを発信していく意味でも、動画を作成いたしまして、つくっていききたいなというふうに思っております。ただ1点、子供たちの肖像権であるとか、そういうところをクリアした上で、積極的に取り組んでいききたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いをいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） 一応肖像権の問題がクリアできれば貸していただけるということでありますので、ぜひ私どもも積極的にこれはPRしていききたいなと思っております。これも英語教育の一つの取り組んだ一つとして、新しい人にここに境に住んでもらおうというのが、やっぱり狙いにあるというのがありますから、これはもう町内だけではなくて、ほかにも境町に行くところなのですよということをぜひ紹介していききたいなと思っております。

この前、富岡市だったですか。やはりこの英語教育に興味を持ち始まったという話を、この前遠藤さんからちょっと伺ったのですが、埼玉でも、場所はちょっと埼玉わからないのですが、やはりこの英語教育の取り組みが境町で今やっているような形をぜひ取り入れたいということでやっているという話も聞きましたし、ほかでもそろそろ今度ひょっとしたら始まる可能性もあるのかなと思うのですが、やっぱり境町ほどこれほど進んだ形というのはまずないと思っておりますので、本当にこの来年度全小中学校をまず子供たちの大成功できる

ように、私どもも精いっぱい援助してまいりたいと思っておりますけれども、どうかよろしくをお願いします。

あと、2点目の実はその町民のための、これは今のやっぱり来年はちょっとなかなか難しいのかなという話があったと思うのです。まず、町民の英語講座が難しいのであれば、きのうの町政報告の中で、町長のほうで職員募集で随分境町は職員の人がいっぱい入ってくる。要するに募集が多いという話を聞きました。これは本当にそれを聞いて、岡本さんの実は最初町長と会ったときの話で僕も思い出したのですが、境町の役場に、要するに公務員になりたくて入るのではなくて、境町の役場に入ると、こういう例えば英語も、英会話のそういう受けられるとか、英語を学ぶことができる機会があるという、そういうことによって実は境にもっとすごくいっぱい人が集まる可能性が出てくるのではないですかとたしか言ったと思うのです。そういったことをまず生かしていただければなと思うのですが、その中でこれは僕の希望ですけれども、この前多分町長も職員の方を対象にしたそういった英語もやっていきたいという話もあったと思うのですが、そこをまずスタートにしてもらって、そこに少しでも町民の人が参加できるような形をやってもらえればなというふうには思っているのです。

やっぱりこの英語教育が始まって、町民の方もぜひ参加したいという方の声も結構ありますので、なるだけやっぱり、いきなり本当は各小学校単位でなんていう話もあったのですが、なかなかそこにはいきなりいけないでしょうから、まずはどこか1カ所そういう地ならしではないですけども、そういう形で来年度からちょっと始まっていただければなというふうに思っているのですが、その辺ちょっと見通しのどうでしょうか。

○議長（倉持 功君） 町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、田山議員さんのご質問にお答えをします。

先ほど次長のほうから答弁ありましたけれども、先生たちのまずそのスケジュール、それがどのようになるかというのがまだ。今境小学校で3人の先生がやっていただいておりますけれども、次その20人が入ってきて、各学校に約3人ずつやって、やるものですから、その新しく入ってきた人たちもスキルは高いと思うのですけれども、なれるまでに多分時間がかかったり、そんなこともあるかなというふうに思っているのです、来年度やらないという意味ではなく、大体その時間がどれぐらいとれるのかとか、それから例えば活用方法がたくさんあって、その田山さん言われるように、住民の皆さんに英会話教室、職員の英会話教室、それから例えば放課後児童クラブでの英会話教室とか、多種多様に働いてはいただけると思うのですが、やっぱり小学校にその働いている時間もありますので、その辺もあわせてどのぐらい時間がとれてできるのかなというところも検討していきたいという意味で、順を追ってやりますみたいな話をさせていただいたものですから、やらないということではなく、基本的にはそういった形で住民の皆さんにもそうやって学んでいただく機会をつくりたいと思っています。そういう職員もそうですし、はたまたその近隣の圏央道沿線沿いに進出をした企業の通訳さんとして出したりとか、そんなことも町としては遠藤先生ととも

に検討しているところではありますので、まだ境小学校だけですので、この後森戸とか静とか猿島とか全部、一中、二中とか、長田に入りますので、それを見て、その後どのぐらい時間がとれるかということを検討していきたいということなので、ぜひ来年度の後半ぐらいではある程度形を一つはできるのではないのかなというふうには思いますけれども、まず全小中学校に入れさせていただいて、多分全部入れたときには、そのスキルの問題もいろいろあるかもしれないですけれども、課題もまた出るかもしれないので、その課題も出なければすぐできるのですけれども、出たときのために少しお時間をいただければなというお話でありますので、前向きにしっかり検討してまいりたいというふうに思っているところでありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） これは質問ではないのですが、今町長言われたように、来年度何か整えば始まっていくという話をいただきましたので、それはそれで前向きにぜひ検討していただきたいなと思います。

境から成田まで本当に高速バス1本で今行けて、世界がすごく近くなったなという感じはするのです。そういった中で、子供たちだけではなくて、やっぱり大人の人にも、さっき言ったように、いろんな国で実は英語だと通じる。本当に3.5人に1人が英語をしゃべるのだという話を聞きますと、僕ら日本語だけなのかなと思ってしまうと、なかなか寂しいなと思うのですが、そういった面でも大人の人やはりそういう語学を学ぶことによって、また世界にどんどん行けるのかなという感じもいたしますので、その辺も一日も早くぜひ取り組んでいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

1項目めはこれで終わりです。

○議長（倉持 功君） これで英語教育の取り組みについての質問を終わります。

次に、防犯対策の取り組みについての質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長 佐藤友久君登壇〕

○総務部長（佐藤友久君） それでは、田山議員の2項目め、防犯対策の取り組みについての当町も防犯灯や防犯カメラの設置などが数多く行われているが、今後の設置計画についてとのお質問にお答えします。

防犯灯につきましては、平成27年度から国の補助金を活用し、町内の防犯灯1,736灯を蛍光管からLED化し、さらに各行政区からの要望や危険箇所の洗い出しを行い、437灯の新たな設置を進めてまいりました。また、防犯カメラにつきましても、平成26年当初は町内5カ所に設置されておりましたが、国の補助事業である地域がんばる交付金やふるさと納税を活用し、現在46カ所に設置をしております。

今後におきましても、町内で100カ所程度設置し、防犯対策の強化に努めていくとともに、防犯灯におきましてもこれまで同様に行政区からの要望や危険箇所等の洗い出しを行い、

順次設置していきたいと考えております。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） 実はきのうの町政報告を聞いて、境町46カ所もあったのかと、実はびっくりしているところなのですが、今総務部長から今度100カ所つけるのだよという話でしたので、大変よかったなと思っています。

実は僕は今回、何で防犯カメラの質問をしたかといいますと、1つは、この前県議会のほうで実はあった中で、境はちょっと茨城国体は関係ないというか、正式競技ではないということで伺ってあれだったのですが、実は茨城国体が2019年に開催されて、その中で正式競技が33の市町村で行われて、74の施設のうちにこの防犯カメラが設置されているのが2つの施設しかなかったというのです。鹿嶋のスタジアムと日立市のさくらアリーナというところですか。この2カ所のみで、多くの人が集まる場所なのに、実はそこにまだ防犯カメラがちょっと設置がされていなくて、これ本当に駐車場とか出入り口について、ぜひ市町村で設置をしていただきたいという県のほうから実はあったそうであります。

今のホストタウンという話もありましたけれども、やはり町の施設も恐らくそういう駐車場なり出入り口なんかには、町としてもそういう設置をされていると思うのですが、ぜひやはり安心安全な町づくりのためにやっていただければなと思っています。

これも本当は質問ではないのですが、実はつい10日、2週間ぐらい前ですか、大洋村のことがニュースでやっていました。これ本当に大洋村の前、町長が議員のときに、僕も言われて1回研修に行かせていただいて、すごいなと思ったのですが、実は今空き家が極端に進んだところとして取り上げられて、余りいいことではないです。本当にもう十何年前ですけれども、そのときは全国でも健康長寿の村ということで、すごいニュースでも取り上げられたし、実はうちのほうの浜四津代表だったころにそちらに伺って、そういう施設なんかも行ったことがあったのですけれども、それだけみんなに注目をされていたところでもありますけれども、今空き家が多くて大変問題があるということでニュースをされていました。

その中で、実は東京の人が別荘を持っていて、その別荘にどうして行かないのですかとニュースでやっていたのですが、1つは治安が悪いというのです。治安が悪くて、その自分の土地の別荘の中に違う人が住んでいたり、いろんな廃棄物が捨てられたりとかというのがあって、やはり治安が悪いということは、非常にこれはそのイメージを悪くするし、よくないなというふうに思いました。

そこで、この防犯カメラについて聞いたわけでありましてけれども、本当に今聞きましたら、この次もう倍以上の100カ所ということだから、随分すごいところいっぱいつけるのだなと思ったのですが、さっき冒頭の質問の中で言ったように、やはり防犯カメラがついているということを知らせることが、1つはその抑止力になるということもありますが、これ実は僕は46カ所どこだかよくわかっていなくて、これは割と目立つような感じで今もつけられていると思うのですが、ここに防犯カメラついていますよみたいな、そういう表示もされてい

るのですか。ちょっとお聞きしますけれども。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長，橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは，田山議員さんのご質問にお答えします。

議員ご指摘のとおり，やはり防犯カメラがついていると，刑法犯とかそういったものの抑止になるという思いでつけさせていただいております。今行政懇談会とか区長会の懇談会なんかで，ぜひつける場所があれば要望していただきたいという話と，警察とも協議をしながら必要なところにはつけていくということで，今ついているのは例えば境町への入り口，出口。例えば境大橋をおりてきて，道の駅のあの交差点とか，ああいったところとかについています。ですので，46カ所とって，近隣からすると多いのですけれども，46カ所という意外にそんなに多い数ではないのではないのかなというふうに町としては考えております。近隣からすると多い。ほかは，例えば坂東市で20カ所とか，そういう形でいうと多いですけれども，やっぱり46カ所ではまだ全然足りないのかなと。

あと，設置業者さんが電設業組合の人たちがやっているのですけれども，その下に「防犯カメラ作動中」という黄色い看板をつけていただいております。ですので，町に看板も50枚ほど寄附をしていただいて，それをつけて各交差点，各交差点つけさせていただいたり，それから施設だとよくガソリンが盗まれたりするふれあいの里の駐車場だったり文化村，ああいったところにもつけさせていただいているところでもあります。ただ，まだまだやはり認知度としてもっと防犯カメラがついている町だというような認知度を上げるような広報等もしていくことによって，泥棒が来なくなったりとか，トラクター泥棒がいなくなったりとか，そういったことにもなると思いますし，例の残土もそうです。必ずもうついているという形になると，随分違うのではないかなと思っておりますので，この間の警察署とも防犯カメラの相互利用の協定をしたところでもありますので，しっかりもっとPRをして，防犯カメラがこれだけついていますというような状況で広報していくことによって安全安心が保たれるのではないかなというふうには思っておりますので，よろしくお願ひしたいと思ひます。

それと，先ほど総務部長が100個というのは，100個つけるという意味ではなく，今どんどん順次挙がっていったところから100個を目標につけていきたいということでもありますので，もうつけるところが決まっているわけではありませんので，そこはご理解いただきたいというのと。あと，46カ所今つけているところについては，多分二十何カ所ときには広報紙でお知らせしたのですけれども，四十何カ所になってからお知らせしていないと思ひますので，議員の皆様方にもお知らせするとともに，広報紙等でもお知らせをする必要があるのかなというふうには感じておりますので，よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し，質問はございますか。

田山文雄君。

○10番（田山文雄君） 今本当に100カ所これからつけていくという話でありましたので，

ぜひ地元の方の声を聞きながら、本当に安心安全な町づくりで、また進めていけるように要望して、終わりたいと思います。

以上で質問を終わります。

○議長（倉持 功君） 以上で田山文雄君の一般質問を終わります。